

板東俘虜収容所と忠臣蔵

捕虜の支援者 ハンス・ラムゼーガー作曲

「忠臣蔵」楽譜発見記念展

会期：令和8年12月25日まで

会場：鳴門市ドイツ館1階 交流コーナー

元禄赤穂事件を題材として創作された「仮名手本忠臣蔵」に触発されて作曲が始まった交響曲「忠臣蔵」。

作曲者のハンス・ラムゼーガーは、当初オペラ化をめざしたものの断念し、板東俘虜収容所の捕虜たちの楽団に演奏させるため、交響曲として曲作りを続けました。

しかし、捕虜たちに提供できたのは2つの楽章のみで、それ以外の楽章は捕虜たちが解放された後に完成します。

本展では、新たに確認されたラムゼーガー直筆の交響曲版と弦楽五重奏曲版の「忠臣蔵」楽譜と、忠臣蔵に関係する資料を展示します。

また、関連行事として弦楽五重奏曲版の再現コンサートを開催します。捕虜となったドイツ兵たちの心情を「仮名手本忠臣蔵」の物語に置き換え、西洋音楽の調で見事に表現したハンス・ラムゼーガーの力作を十分にお楽しみください。



弦楽五重奏曲「忠臣蔵」

作曲者 ハンス・ラムゼーガー
(1867-1933)

1889年から日本に滞在。

貿易商を営む傍らで、アマチュア音楽家として作曲、演奏指導を続ける。

英語訳の「仮名手本忠臣蔵」を読み、板東俘虜収容所の捕虜のために「忠臣蔵」を題材とした楽曲を作曲し提供しました。

弦楽五重奏曲「忠臣蔵」再現コンサート
令和8年11月14日(土)
午後1時30分 開演(午後1時 開場)
鳴門市ドイツ館 1階大会議室
入場料 無料



お問合せ
鳴門市ドイツ館
779-0225

徳島県鳴門市大麻町桧字東山田55-2

電話 088-679-9110

e-mail doitukan@city.naruto.i-tokushima.jp

ハンス・ラムゼーガー直筆の「忠臣蔵」楽譜と
1917年10月21日開催のコンサートプログラム(左上)